

Title	ホップ・ステップ・ストップ? : HEART 公開から初期コンテンツ構築まで
Author(s)	永井, 一樹
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/14178
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

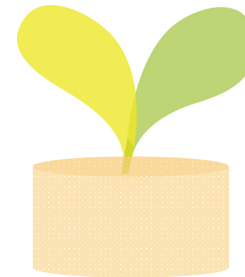
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University



ホップ・ステップ・ストップ?

HEART公開から
初期コンテンツ構築まで



兵庫教育大学附属図書館 学術情報チーム

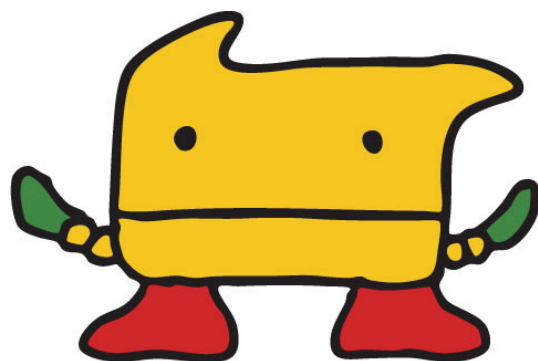
永井 一樹

knagai@hyogo-u.ac.jp

DRF-senri (H21.1.19)



兵庫教育大学について



ひょうちゃん

創立 昭和53年

学生数 1,592名

(学部 708 修士 767 博士 117)

教員数 167名

図書館職員数 8名

(H20年度データ)

- ・教員就職率5年連続1位(国立の教員養成大学・学部)
- ・教職大学院の設置



HEART（兵庫教育大学学術情報リポジトリ） について



H18年8月 CSI委託事業採択（～現在）

H19年2月 システム構築（Dspace1.3.2）

H19年4月 学内試験公開

H19年12月 学外試験公開

（ハンドルシステム登録・NIIへのハーベスト申請）

H20年3月 正式公開

H20年12月 コンテンツ1,000件突破

リポジトリ事業 前夜

逆風

- ・図書館予算の縮小
- ・人員の削減
- ・システム担当者の不在

追い風

大学情報の一元管理とその公開の方策についての検討が全学的に行われ始めていた。

リポジトリ歓迎ムード？



阿蘇品さんの事例報告を読む

「IRは、首尾よくいけば、大学自体、研究分野自体の有り様がドラスティックに再構築される可能性もあり、本当に首尾よくいけば、図書館という仲介者をなくせる可能性も秘めた**爆弾のよ**うな**事業**である」

やるぞお！



「機関リポジトリを軌道に乗せるため為すべき仕事：千葉大学の初期経験を踏まえて」
(『情報管理』Vol. 48, No. 8, 2005, p.496-508)



H18年度 学内合意形成&システム構築

- ・学内説明会 (資料:<http://hdl.handle.net/10132/1697>)

学 長:「リポジトリは世界的な動き。やらなければならない」

首脳部:「質の高い教材のアーカイブを」(**内容審査機能**)

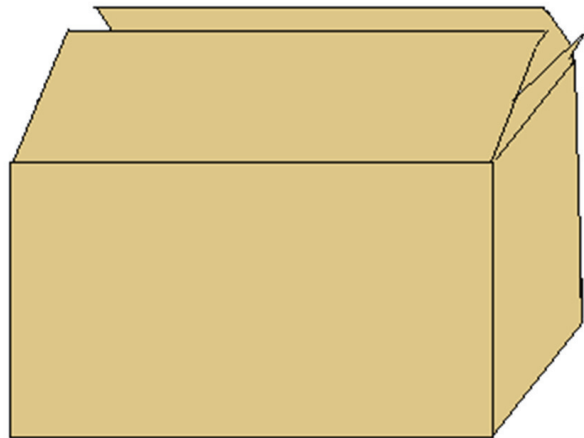
「学生にメリットを」(**学内限定コンテンツ**)

「大学情報の一元化」(**書誌DBとの統合**)

教 員:特に反応なし

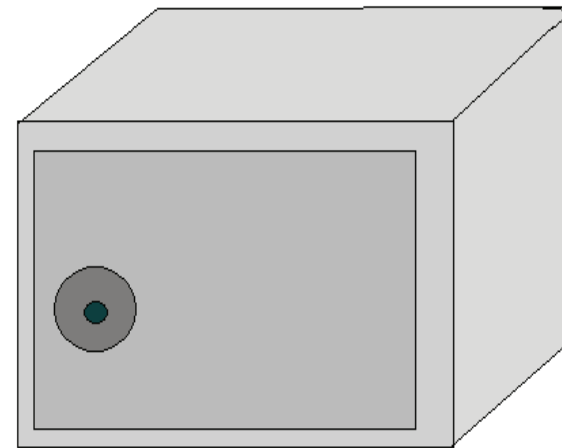


リポジトリのイメージ



リポジトリ担当者

「ふたの開いたダンボール箱」



首脳部

「鍵のかかる金庫」



H18年度

・システム構築

ソフトウェア Dspace 1.3.2

サーバ Dell PowerEdge HDD 73GB RAID1

OS Cent OS

構築・保守を外注：株式会社 アグレックス

保守内容（本学の場合）

【運用のサポート】

- ・Dspaceの使用方法について電話・メールで対応
- ・定型的なコマンド操作（一括登録、データ抽出など）の指示

【システムの安定稼働】

- ・Dspaceの保守（OS・ハードウェアは対象外）→一抹の不安

感想：まあ軽やかなホップ



H19年度 戦略なきコンテンツ収集

とりあえず目の前にある 紀要論文＋修士論文

[紀要論文] 雑誌論文(商業誌・学会誌)と比べて権利処理が容易

■ 紀要の著作権ポリシーの状況

- ・学内22誌にメール照会、19誌回答、内18誌(著者の許諾があれば可)
- ・3誌はすでにWeb公開

■ 教員(著者)の許諾状況

- ・全教員にメール照会 回答率94% 許諾率 88%

757件

[修士論文] 著者の許諾率 12% (H15-H18年度)

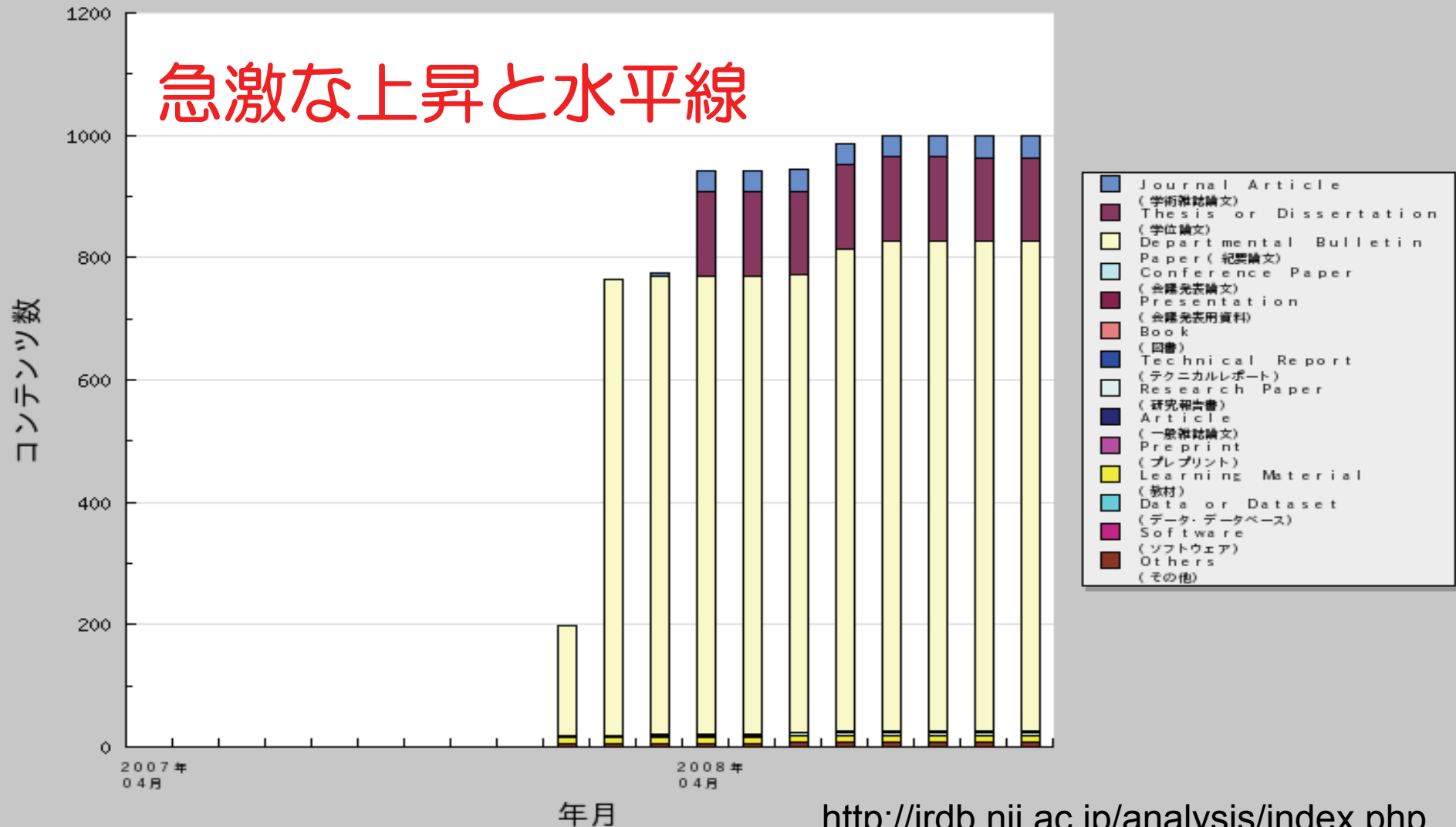
137件

感想: 力強いステップ、しかし・・・



兵庫教育大学学術情報リポジトリ HEARTIR の
コンテンツ増減

急激な上昇と水平線





「我々が目指すべきは、IRを凍結させないこと、つまり**わずかずつでもよいから**コンテンツが増え続ける「活きたIR」である。」

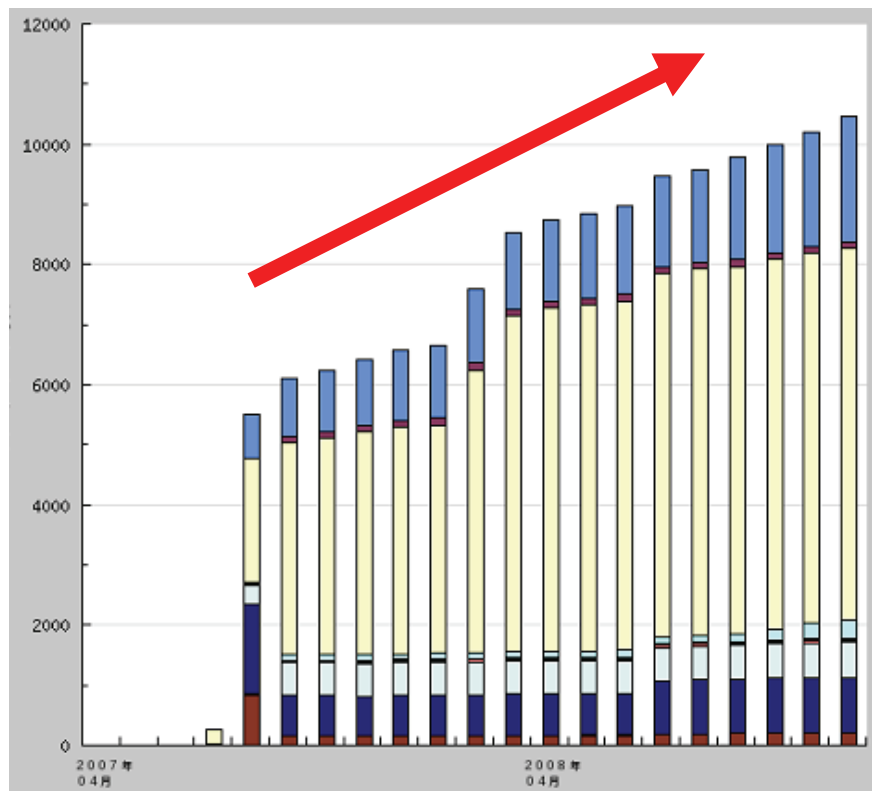
by 阿蘇品さん

凍 結...

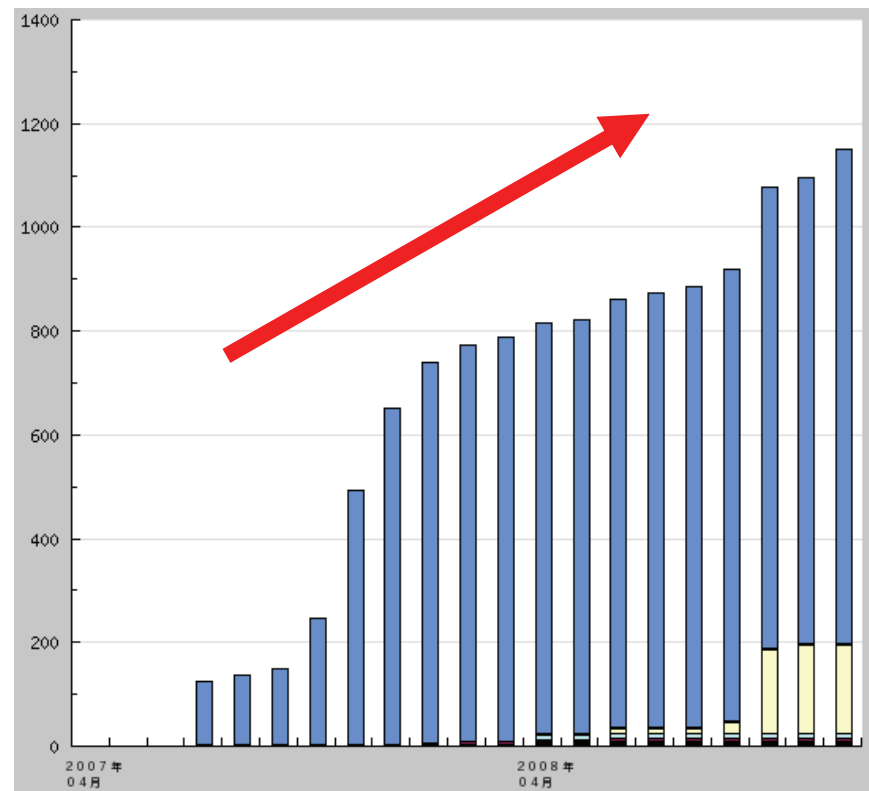




手本にしたいリポジトリ=漸増するリポジトリ



金 大学KURA



大学SOAR-IR

<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>



ジャンプするために（今後の戒めとして）

①卵ではなく**鶏**を探す

- 最大のステークホルダーは「教員」
- リポジトリ事業は、「教員」と図書館との新たな関係づくり
- 広報（ロゴやネーミングを含め）の対象はあくまで「教員」

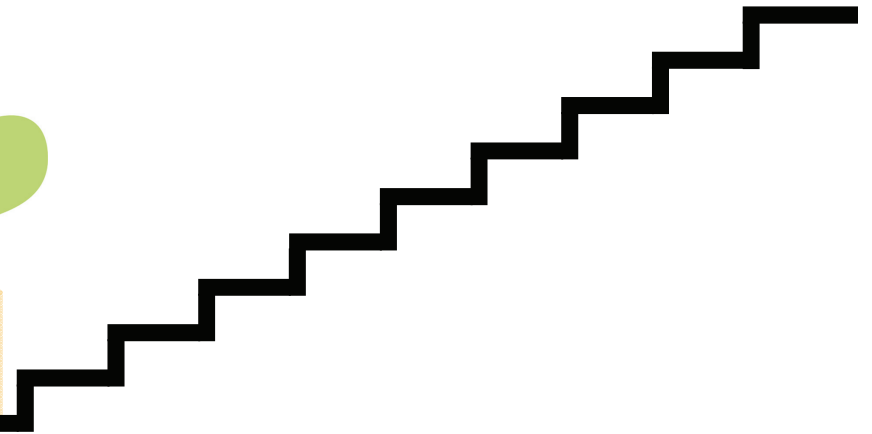
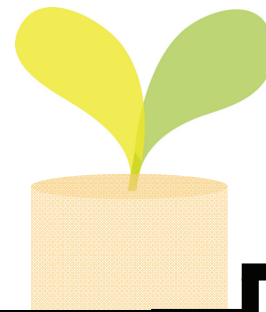
②養鶏場のような**ライン**を

- 紀要の電子ジャーナル化・オーバーレイジャーナル
- 業績DB等、他システムとの連携
- 義務化・オプトアウト式
- （現実路線）文献DBでの定期的な論文調査・教員への提供依頼



最後に：リポジトリに携ってよかったこと

- ILL担当者としてオープンアクセス文献を案内できる喜び
- 教員と「さし」で話せる喜び
- 他大学にたくさん友達ができる喜び



ご清聴ありがとうございました。